



# プールレス加湿器 MIST 350

## 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製品番号(型番) 9YYA29

取扱説明書番号 T029-RGXZ (Y2404)

# もくじ

安全上のご注意 (必ずお読みください) ……	3	タンクの排水について ……	20
特長 ……	8	安全機能について ……	21
各部のなまえ ……	8	湿度設定について ……	22
付属品 ……	9	■ 加湿器使用によるお部屋の結露 ……	23
■ お掃除ブラシを収納する ……	10	お手入れについて ……	24~33
ブースターについて ……	11	■ タンクの乾燥機能について ……	30
<b>使いかた</b> ……	12	■ タンクの乾燥タイマーを設定する ……	30
1. 設置場所を確認する ……	12	おもな製品仕様 ……	34
■ ミスト(霧)による白い粉の発生について ……	12	故障かな? と思ったら ……	35
■ 設置上のご注意 ……	13	■ 異常警告表示について ……	
2. タンクに水を入れる ……	14	保証について ……	38
3. AC電源アダプターを接続する ……	16	アフターサービスについて ……	38
4. 電源ボタンに触れて加湿を開始する ……	17	お問い合わせ先 ……	39
■ 加湿モードを選ぶ ……	18	保証書 ……	裏表紙
■ タイマーを設定する ……	18		
■ ランプの照度を調節する ……	18		
■ ランプを常時明るくする ……	19		
■ 明暗センサーについて ……	19		
■ メモリー機能について ……	19		
■ 給水の目安 ……	19		



## WEB 取扱説明書

最新の取扱説明書は、こちらをご覧ください。

<https://rhythm.jp/support/manual/>

## 安全上のご注意（必ずお読みください）

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

**図記号の説明** ○は禁止（してはいけないこと）を示しています。  
●は指示する行為を必ず守ることを示しています。

**警告** 次のことを守らないと、火災や感電により死亡や大ケガなど人身事故の原因になります



ぬれた手でAC電源アダプターに触れない  
感電の原因になります。



コードを傷つけたり、無理に曲げたり、重い  
ものを載せたり、挟み込んだりしない  
コードが破損して、感電や火災の原因にな  
ることがあります。



AC電源アダプターやコードが傷んだとき  
は使用を中止する  
そのまま使用すると、感電や火災の原因に  
なります。



本体やAC電源アダプターから発熱・煙・  
異臭などがするときは、直ちにAC電源  
アダプターをコンセントから抜く  
そのままにすると、感電や火災の原因にな  
ります。



AC電源アダプターの接続時はコンセントや  
配線機器の定格を超える使いかたをしない  
定格を超えて使うと、発熱や火災の原因に  
なります。



お手入れの際は必ずAC電源アダプター  
を本体とコンセントから抜く  
感電・発火の原因になります。



付属のAC電源アダプター以外を使用したり  
、他の機器に付属のAC電源アダプター  
を使用しない  
許容以上の電圧がかかり、本体の故障や火  
災の原因になります。



AC電源アダプターを布団などで覆った状  
態で使わない  
熱がこもってケースが変形したり、火災の  
原因となることがあります。



雷が鳴り出したら、本製品やAC電源アダ  
プターに触れない  
感電の原因になります。



ACプラグやコンセントの差し込み口のほ  
こりを定期的にとる  
ほこりがたまると、絶縁不良となり、火災の  
原因になります。



**本体にセンサー用マグネットを使用しています**

心臓ペースメーカーなどの医用電気機器を装着されている方は、医師とよく相談してから使用する

本製品が医用電気機器の動作に影響を与える場合があります。



**製品の上に乗ったり、寄りかかったり、物を置いたりしない**

転倒や破損により、火災やケガなどの思わぬ被害が生じるおそれがあります。



**故障や破損した状態で使わない**

タンクや本体に破損があるまま使用すると、ケガや火災、感電などの原因になります。



**水をかけたり、水に浸けたりしない**

ショートや感電などの原因になります。



**本体を水に濡らしたり、水洗いしない**

火災や感電、故障の原因になります。



**屋外など、雨や水しぶきがかかるような場所やこれに類する環境で使用しない**

火災など思わぬ事故になるおそれがあります。



**タンク接地面は水を掛けたり浸けたりしない  
また、ゴミ・塵は取り除く**

接地面が濡れていたたり、ゴミ・塵が溜まったままで使用すると、本体の故障や、火災の原因になります。



**運転中は本体を移動させない**

タンクの水が装置内に大量に流れ込み、本体が故障したり、火災の原因になります。



**高いところや不安定な場所、家電製品の上に置かない**

転倒した際に水がこぼれて、感電やショートの原因になります。



**ヒーターやコンロ、灯油やガソリンなどの引火性物の付近、直射日光が当たるところなど、熱源や火気のある高温となるような場所で使用しない**

使用を続けると火災になるおそれがあります。



**毛足の長いカーペットの上に置くなどして吸気口をふさがない**

内部に熱がこもり、故障や火災の原因になります



**吸気口にフィルターが取り付けられていない状態で運転しない**

ゴミやほこりを吸い込み、火災の原因になります。



**本体の排水は、ラベルの排水方向に従う**

排水方向を誤ると、本体へ水が入り込み、ショートの原因になります。



**お手入れに水道水以外は使用しない**

洗剤や洗浄剤などを使用すると、有毒ガスが発生する原因になります。



本体のすき間などにピンや針金などの異物を入れない

ケガややけど、感電などの原因になります。



分解や改造をしない

火災や感電、故障の原因になります。



**警告**

小さなお子様やペットに対して、小さな部品・長いケーブル、指が入ってしまう隙間など、不意のケガや思わぬ事故防止のため、以下の点に注意してください



センサー用マグネットを取り出さない

インナーカバーには小さなマグネットが設置されています。お子様やペットの誤飲や思わぬ事故防止のため、取り出さないでください。



指を入れない

吹出口などの隙間にお子様や指を入れないように注意してください。ケガのおそれがあります。



小さなお子様やペットが届く所に置かない

コードを首に巻きつけて窒息する原因になります。また、ケガややけど、感電などの原因になります。



設置場所とコードの配線に注意する

小さなお子様やペットがコードに引っかかり、本体が転倒・落下するなどして直撃した場合、重傷を負うおそれがあります。



梱包用のポリ袋をかぶらない

窒息するおそれがあります。



**警告**

本製品は超音波を使用してミスト（霧）を発生させる仕組みです。タンク内では強力な超音波により水柱が発生しています。ケガやプラスチック製品の破損を防ぐため、以下の点に注意してください



電源を入れた状態で超音波振動子付近に手を近づけない

ケガをするおそれがあります。



タンクに表示されている満水ラインを越えて水を入れない

超音波の影響により、カバーが変形したり、正常に機能しなくなるおそれがあります。



トップカバーを外して使用しない

水が飛散し周囲を汚損したり、水面及び水柱に触れるとケガを負うおそれがあります。



## 注意

傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容



40℃以上のお湯や浄水器の水、温水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーターや井戸水、また、次亜塩素酸ナトリウムやアルコールなど、水道水以外は絶対に使用しない

故障や破損の原因になります。



タンク内部に異物を入れて使用しない

タンク内部には超音波が発生します。水道水以外のもの（液体に限らず固体も含め）を入れないでください。故障や思わぬ事故が発生するおそれがあります。



タンクを持ち運びする際は、取っ手部分を持つ

取っ手以外で持ち運ぶと、滑りによる落下などにより、家財等に損壊を与えるおそれがあります。また、エアダクト部を持つとタンクが破損する場合があります。



本体の故障や水漏れを防止するために、次のことを守る

- タンク以外に給水しない。
- タンクを取り外したまま運転しない。
- 運転中にお手入れをしない。
- 運転中はタンクに触れない。
- 吹出口や吸気口をふさがない。



タンクの水や本体内部は常に清潔にする

- 水は、毎日新しい水道水と入れ替えてください。
- 使用しないときは、タンクや本体に残っている水を捨て、細部の汚れを柔らかいブラシなどで落とした後、柔らかい布で拭き取ってください。カビや雑菌の発生により、健康を害する原因になります。
- ミスト(霧)を直接吸引しないでください。



凍結のおそれがあるときは、タンクの水を捨てる

タンクの水が凍結した状態で使用すると、故障や破損の原因になります。



テレビやパソコンなどの精密機器や壁・床・家具に直接ミスト(霧)をあてない

精密機器の故障や壁・床・家具の傷みやシミの原因になります。



お部屋の加湿以外の用途で使用しない

本製品は一般的な家庭やオフィスなどの室内用です。美術品や学術資料の保存用など、特殊な用途で使用しないでください。保存品の品質低下などの原因になります。



強い振動や衝撃を与えない

故障や破損の原因になります。



**長期間使用しないときは、AC電源アダプターを取り外す**

安全のためAC電源アダプターを取り外してください。



**AC電源アダプターのコードを引っ張らない**

断線を防ぐため、コンセントから抜くときは、差し込みプラグを持ってください。



**電源のON/OFFを短時間に繰り返さない**

ミスト（霧）がタンク内に溜まりすぎ、エアダクトから逆流して故障や破損の原因になります。



**磁気に弱いものを近づけない**

クレジットカードやICカード、キャッシュカードなど、磁気の影響で記録が消えたり壊れる場合があります。



**お手入れは、週1～2回行う**

AC電源アダプターを本体とコンセントから取り外してください。



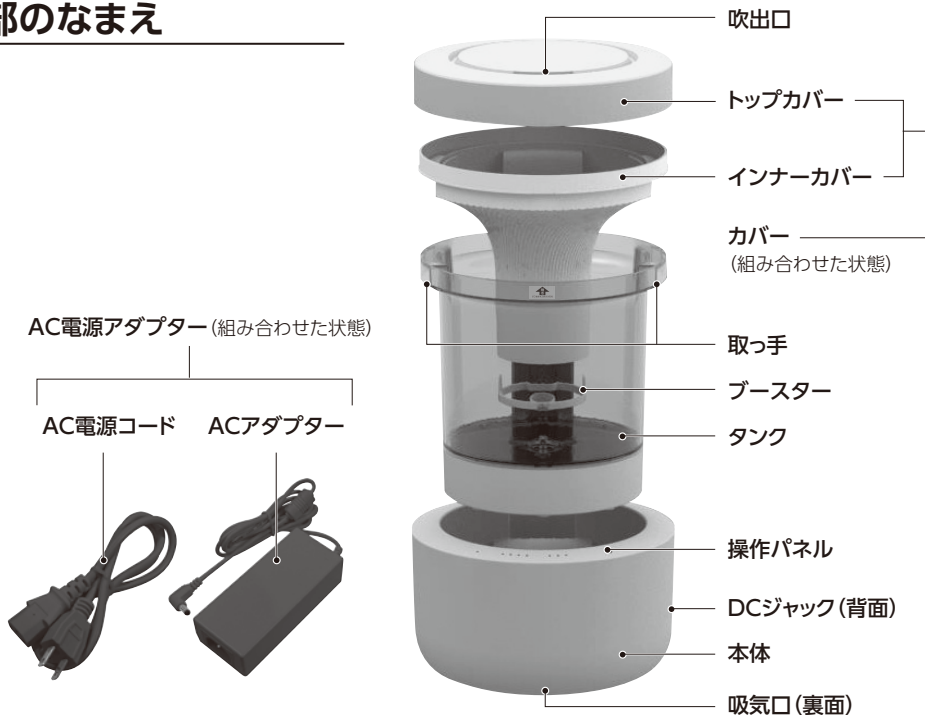
**ブースターは正しく装着する**

器具の破損や本体の傷の原因になります。

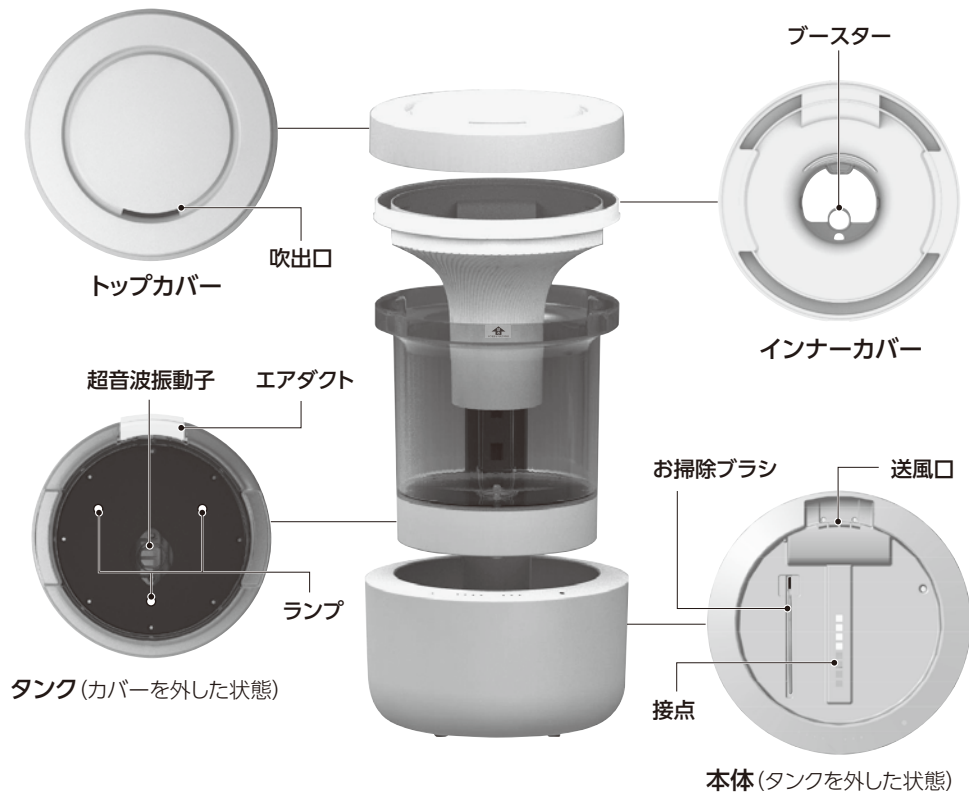
# 特長

乾燥する季節に快適な湿度とくつろぎの時間を提供する加湿器です。  
毎日「新鮮で綺麗な水」で加湿できるように、洗いやすさ、使いやすさを一から見直しました。  
ブースターを取り付けることで、加湿量がアップします。

## 各部のなまえ



(真上から見た図)

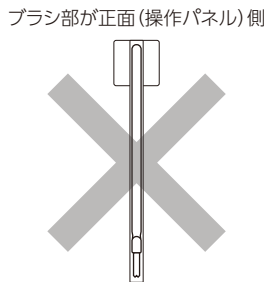
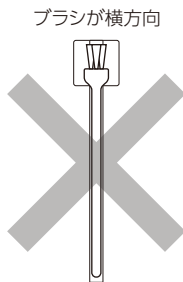
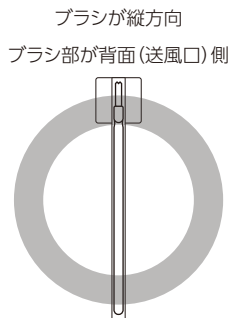
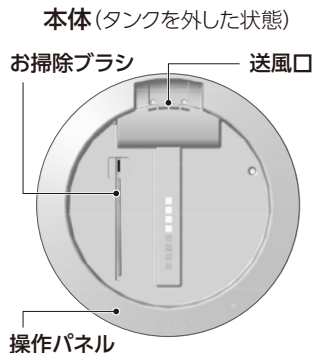


※図は説明用ですので実際の形状と異なることがあります。

付属品 ACアダプター 1個 AC電源コード 1個 ブースター(インナーカバーに装着) 1個  
お掃除ブラシ(本体に内蔵) 1本 取扱説明書・保証書 本書

## ■ お掃除ブラシを収納する

お掃除ブラシを正しく収納しないと、ブラシ部の引っ張りにより、本体にタンクが正しく設置されず、正常動作しないことがあります。また、異常警告表示の警告音が鳴ることがありますので、下図の通り、正しい位置に収納してください。

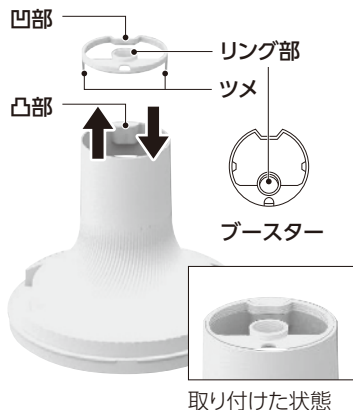


# ブースターについて

ブースターをインナーカバーに取り付けることにより、加湿量が最大350ml/hまでアップします。

運転モード	ブースター	Hi	Low	Fog
加湿量	有	350~320ml/h	200ml/h	28ml/h
	無	300ml/h	180ml/h	28ml/h
連続加湿時間	有	約5.5時間	約9時間	約64時間
	無	約6時間	約10時間	約64時間
適用床面積	木造和室:10㎡(6畳)、プレハブ洋室:16㎡(10畳)			

※適用床面積、加湿能力、その他使用の条件等は「おもな製品仕様」(p.34)をご参照ください。



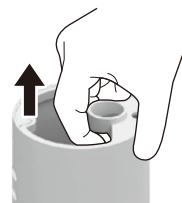
## ■ ブースターの着脱方法

ブースターとインナーカバーはブースター2か所のツメで固定されています。

※ブースターは、インナーカバーの下部にあります。

### 取り外しかた

- ① ブースターの空間から指を入れ、リング部の下に掛けます。
- ② ブースターを持ち上げ、取り外します。



### 取り付けかた

- ① ブースターのツメ側をインナーカバーの内部に入れながら、ブースターの凹部をインナーカバーの凸部に合わせます。
- ② ブースターのツメが「カチッ」とするまで押し込んで、取り付けます。



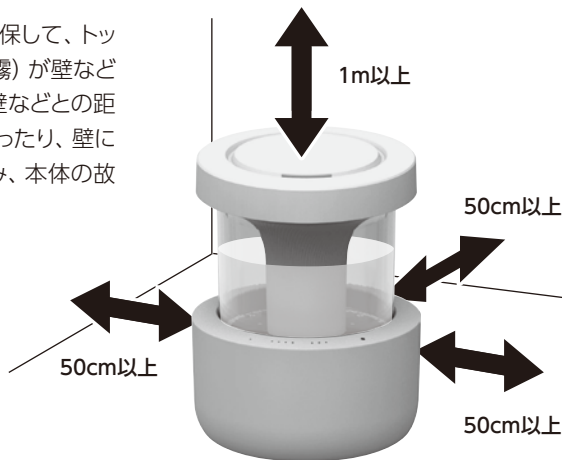
ブースターは正しく装着する  
器具の破損や本体の傷の原因になります。

# 使いかた

## 1. 設置場所を確認する

製品本来の性能を発揮するため、壁や家具等から十分な距離を空け、水平で安定した所に設置してください。

※右図を参考に周囲との距離を十分に確保して、トップカバーの吹出口を回転させ、ミスト（霧）が壁などに当たらないように調節してください。壁などとの距離が近すぎると、カビが発生しやすくなったり、壁に当たったミスト（霧）が吸気口に入り込み、本体の故障の原因になります。



**警告**

高いところや不安定な場所、家電製品の上に置かない  
転倒した際に水がこぼれて、感電やショートの原因になります。

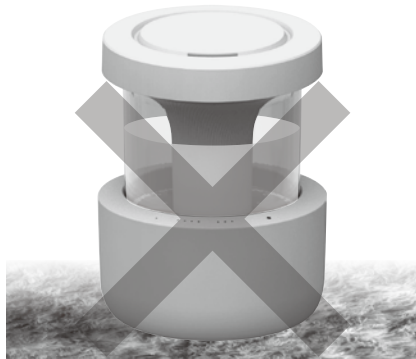
## ■ ミスト（霧）による白い粉の発生について

ミスト（霧）の蒸発により、加湿器やその周辺に白い粉が付着することがあります。これは水道水に含まれるカルシウムやマグネシウムなどのミネラル分です。有害ではありませんが、放置すると固着して取り除きにくくなりますので、定期的にお手入れしてください。

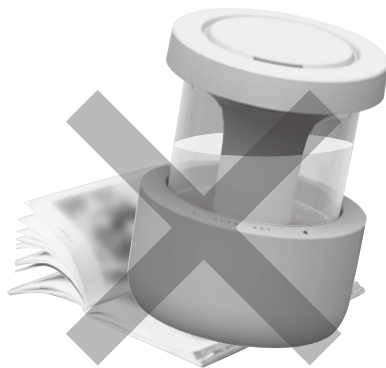
## ■ 設置上のご注意

下記のような場所には設置しないでください。

- 高い所やラジオやテレビ、パソコンなどの家電製品の近く  
※家電製品の近くで使用すると、音声にノイズが入ることがあります。本体を1m以上離すか、別のコンセントをご使用ください。
- 壁やカーテン、家具などの近く
- 設置場所を濡らしたり、足を引っかけたりするおそれのある場所
- 直射日光や暖房機器の風があたる場所



- タオルや柔らかい布、毛足の長いカーペットの上など、吸気口をふさぐ場所



- 傾斜や段差のある場所、クッションや布団の上など不安定な場所



**警告**

毛足の長いカーペットの上に置くなどして吸気口をふさがない  
内部に熱がこもり、故障や火災の原因になります



**注意**

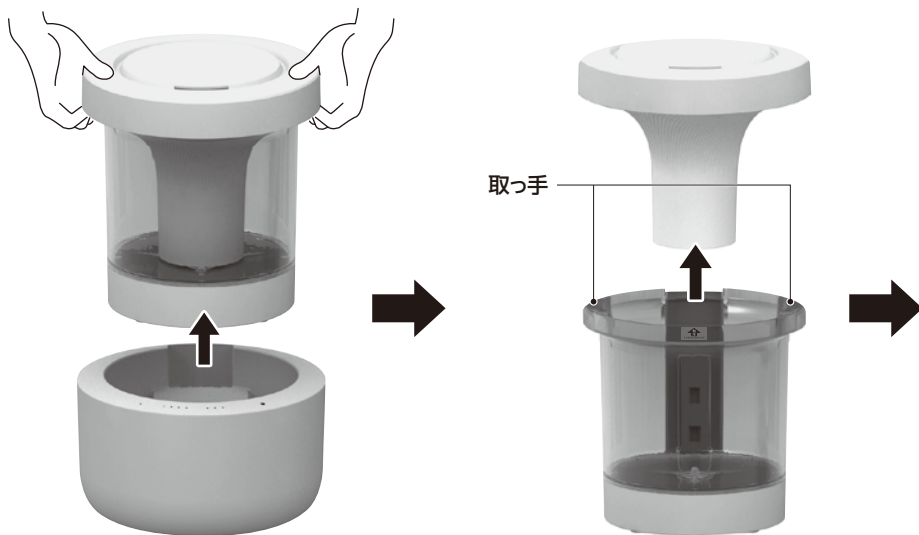
テレビやパソコンなどの精密機器や壁・床・家具に直接ミスト(霧)をあてない  
精密機器の故障や壁・床・家具の傷みやシミの原因になります。

## 2. タンクに水を入れる

タンクの水は、毎日新しい水道水と入れ替えてください。

タンクを本体から持ち上げる際は、必ずタンクの取っ手部分をお持ちください。

※本体に取り付ける際、タンクの外側についた水滴などは拭き取ってください。



①本体からタンクを取り外します。

②タンクからカバーを取り外します。



40℃以上のお湯や浄水器の水、温水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーターや井戸水、また、次亜塩素酸ナトリウムやアルコールなど、水道水以外は絶対に使用しない故障や破損の原因になります。



## 警告

タンク接地面は水を掛けたり浸けたりしない  
また、ゴミ・塵は取り除く

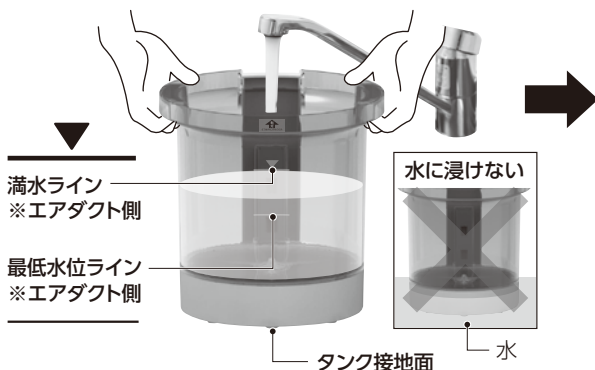
接地面が濡れていたり、ゴミ・塵が溜まったまま  
で使用すると、本体の故障や、火災の原因に  
なります。



## 注意

タンクに表示されている満水ラインを越えて  
水を入れない

超音波の影響により、カバーが変形したり、正  
常に機能しなくなるおそれがあります。

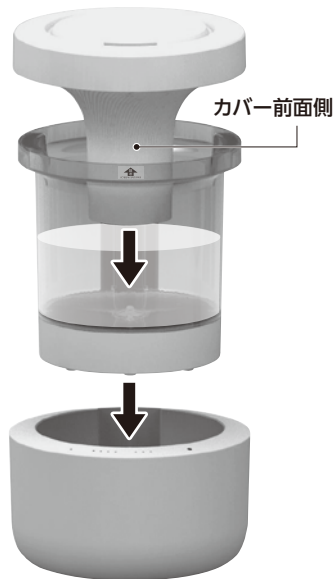


③タンクに水を入れます。

※少量で使用の場合は、最低水位ライン以  
上に水を入れてください。



カバー背面側



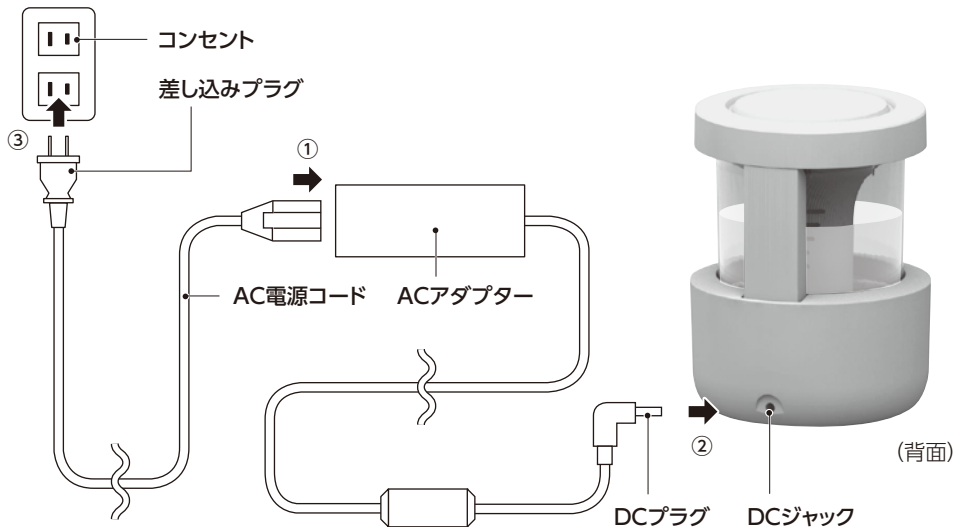
④カバーとタンクを本体に取り付けます。  
※カバーの前後を誤ると取り付けできま  
せん。孔のない方を前面側にして、取り  
付けてください。

### 3. AC電源アダプターを接続する

- ① 付属のACアダプターとAC電源コードを繋ぎます。
- ② DCプラグを本体のDCジャックに差し込みます。
- ③ 差し込みプラグをコンセントに差し込みます。

※約2秒後に確認音が鳴ります。

※必ず、上記の手順で接続してください。



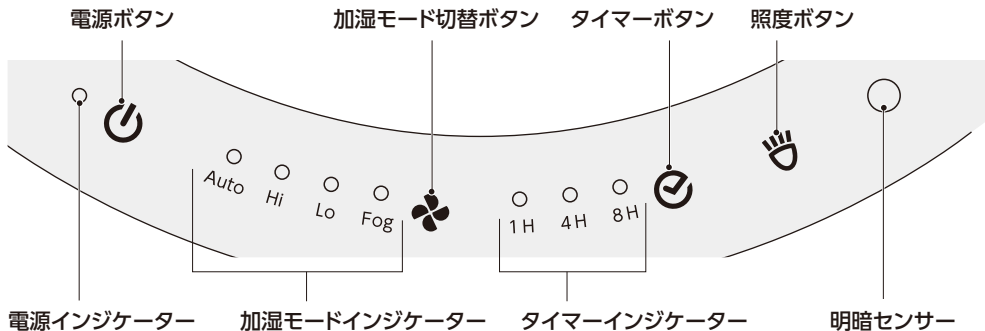
付属のAC電源アダプター以外を使用したり、他の機器に付属のAC電源アダプターを使用しない  
許容以上の電圧がかかり、本体の故障や火災の原因になります。



## 4. 電源ボタンに触れて加湿を開始する

各種ボタンに触れると確認音が鳴ります。

※確認音を消すことはできません。

(操作パネル)




- ①電源ボタン  に触れてください。
- ②タンク下部ランプが灯り、ミスト(霧)がタンク内に充満したあと、吹き出します。
- ③運転中に電源ボタン  に触れるとインジケーターとランプが消灯し、運転が停止します。



電源のON/OFFを短時間に繰り返さない

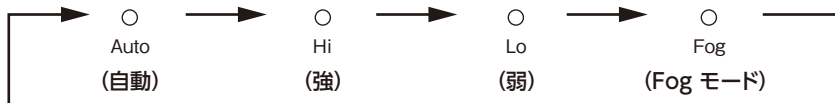
ミスト(霧)がタンク内に溜まりすぎ、エアダクトから逆流して故障や破損の原因になります。

## ■ 加湿モードを選ぶ


運転中に加湿モード切替ボタン  に触れると、お好みの加湿モードを選択できます。加湿モード(インジケーター)は下記の順に変化します。

※Auto…… 湿度センサーにより、最適な加湿量で自動で運転します。湿度の設定は「**湿度設定について**」(p.22)をご参照ください。

※Fog…… タンク内にミスト(霧)を充満させる演出をします。



## ■ タイマーを設定する

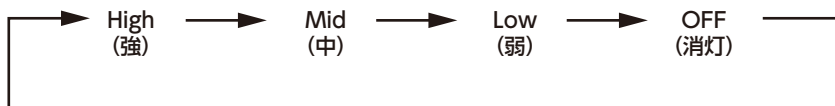
運転中にタイマーボタン  に触れると、指定した時間で電源が自動OFFになります。タイマー(インジケーター)は下記の順に変化します。



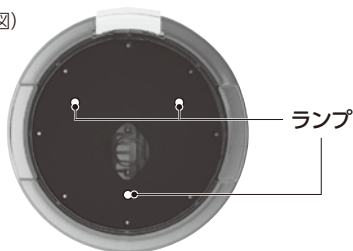
## ■ ランプの照度を調節する

運転中に照度切替ボタン  に触れると、タンク内のランプの照度を設定できます。

※照度インジケーターはありません。タンク下のランプの光をご確認ください。





(真上から見た図)



タンク(カバーを外した状態)

## ■ ランプを常時明るくする

運転中に照度切替ボタン  を2秒以上長押しすると、周囲の明るさに関係なく、High (強) で点灯します。High (強) で点灯した状態で  に触れると、元の照度に戻ります。

## ■ 明暗センサーについて

明暗センサーが暗いと判別した場合は、ランプの照度がゆっくりと低下し、周囲が明るくなると再び照度が上がります。

※昼間や夜間の照明時でも明るさが不足するとセンサーが働きます。

## ■ メモリー機能について

電源を入れると、前回設定した状態で運転を開始します。

※AC電源アダプターを抜くとメモリーはリセットされます。

※加湿モード、ランプの照度をメモリーします。

## ■ 給水の目安

運転中にタンクの水が少なくなると、運転が停止して電源インジケーターが赤色に点灯します。赤色の点灯は、電源ボタンに触れて、電源をOFFにすると消灯します。

「2. タンクに水を入れる」(p.14) にしたがって給水してください。タンクに水を入れ、本体にセットして電源ボタンに触れると加湿が再開します。

※超音波振動子を冷却する目的で約0.4Lの水を保持する必要があるため、タンク内に水が残っていても赤色に点灯します。

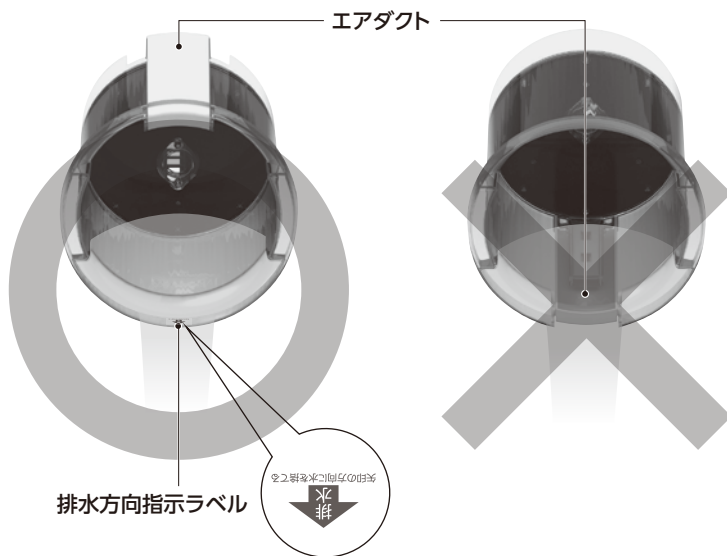
## タンクの排水について

雑菌の繁殖を抑制するため、タンクの水は毎日新しい水道水にすべて入れ替えてください。



本体の排水は、ラベルの排水方向に従う

排水方向を誤ると、本体へ水が入り込み、ショートの原因になります。



## 安全機能について

カバーがない状態やタンクがない状態で電源をONにしたり、電源がONの状態でもカバーやタンクを取り外さないでください。

カバーがない状態やタンクがない状態で電源をONにした場合、確認音の後に警告音が鳴り、電源インジケータが赤く点灯します。この状態ではミスト（霧）は発生しません。電源ボタンに触れて、電源をOFFにすると消灯します。



カバーがない



タンクがない



トップカバーを外して使用しない

水が飛散し周囲を汚損したり、水面及び水柱に触れるとケガを負うおそれがあります。

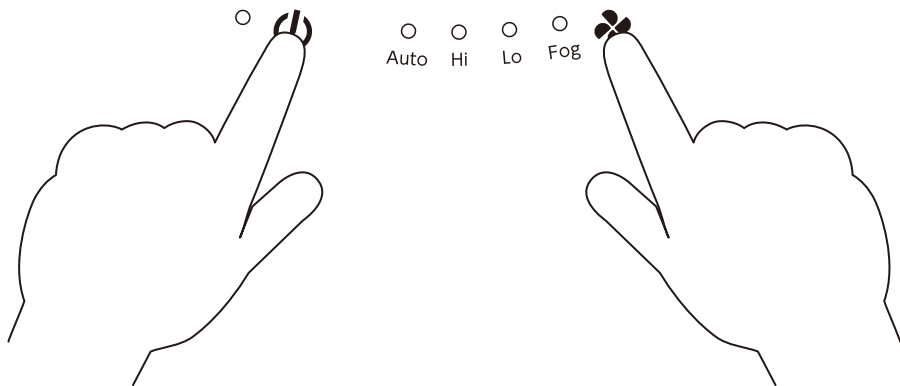
# 湿度設定について

本製品は湿度センサーを内蔵しており、加湿モードの「Auto」設定時は、周囲の湿度を感知して、最適な加湿量を調整します。周囲の湿度が、設定湿度の約10%を超えると自動で運転を停止し、湿度が下がると再び加湿を開始します。（「Auto」設定での加湿停止時は送風動作は停止しません）

○「Auto」の湿度設定は、下記の手順で変更することができます。

## 1. 電源がOFFの状態、電源ボタンと加湿モード設定ボタンを同時に2秒以上長押しします

※「ピピッ」と確認音が鳴ったら指を離してください。



## 2. 「Auto」と設定されているインジケーターが点滅します

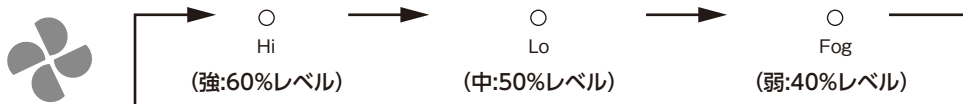
※初期設定ではLo（中）が点滅します。



### 3. 加湿モード設定ボタン で湿度設定を変更します

室内での快適な湿度は40～60%とされています。40%以下になると乾燥によりウイルスが活発になり、60%以上になるとダニやカビが発生しやすくなります。

本製品は、快適な湿度である40～60%の環境を保つように設定することができます。



※湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しのよいところと悪いところでは違いができます。また、設置する高さによっても変わりますので、お部屋の湿度計などを確認しながら調整してください。

※初期設定は、(中:50%レベル)の状態です。

※湿度設定の「%レベル」は目安です。湿度はお部屋の環境により変化するので、湿度計などとは一致しない場合があります。予めご了承ください。

### 4. 電源ボタン 、タイマーボタン 、照度ボタン のいずれかに触れると湿度設定を確定して設定を終わります

※約30秒間ボタン操作をしないと、表示されている内容に設定して、湿度設定を終了します。

## ■ 加湿器使用によるお部屋の結露

本製品は、超音波による振動でタンクの水を霧状にさせて大気中に飛散させる構造です。

霧状になった水分が継続的に飛散されますので、室内の湿度が高く、温度が低い場合は気化されずに、周囲に結露が発生することがあります。特に暖房を止めた夜間や室温が低く湿度が高い場合は、結露が多く発生しますので、暖房中や湿度がおおよそ40%以下の乾燥しているお部屋での使用をおすすめします。

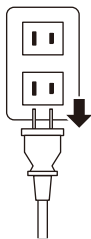
※室温は5～35℃で使用してください。

# お手入れについて

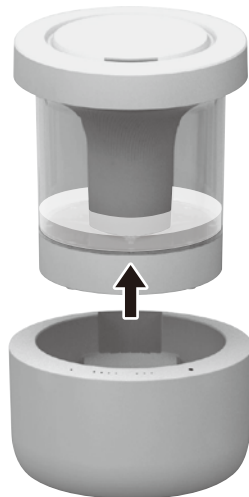
- お手入れを怠ると、水垢などの汚れが付着して取れにくくなったり、カビや雑菌が繁殖する原因になりますので、定期的(週1~2回)に行ってください。
- 定期的なお手入れが行われない状態で、汚れなどによる故障が発生した場合、メーカー保証の対象外になることがあります。

## 週1~2回

1. 本体の運転を停止して、AC電源アダプターをコンセントから抜き、DCプラグを本体から外します



2. タンクを本体から取り外します



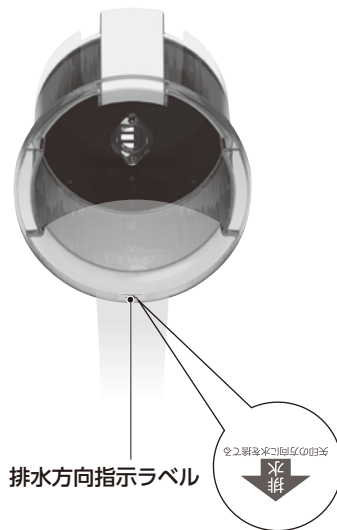
ぬれた手でAC電源アダプターに触れない  
感電の原因になります。

お手入れの際は必ずAC電源アダプターを本体と  
コンセントから抜く  
感電・発火の原因になります。

### 3. タンクからカバーを取り外します



### 4. タンクの水を捨てます

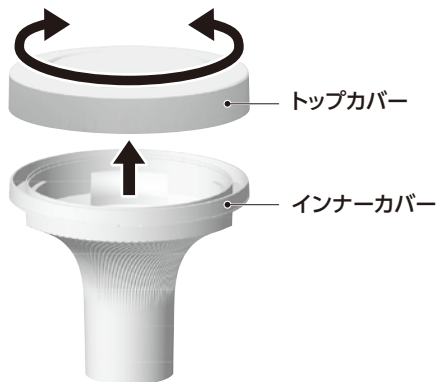


### 警告

タンクの水を捨てる際は、ラベルの排水方向に従うようにしてください。排水方向を誤ると、本体へ水が入り込み、ショートの原因になります。

## 5. トップカバーとインナーカバーを分離します

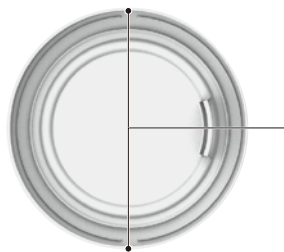
トップカバーとインナーカバーはトップカバーのツメで固定されています。



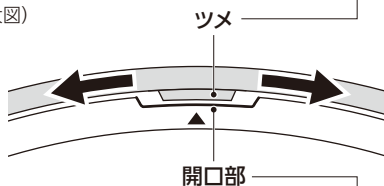
- ①インナーカバーをしっかりと持ち、トップカバーを右または左に回転させます。
  - ②トップカバーのツメをインナーカバーの開口部の位置に合わせ、分離します。
- ※組み立てる際は、逆の手順で行ってください。

(真下から見た図)

トップカバー

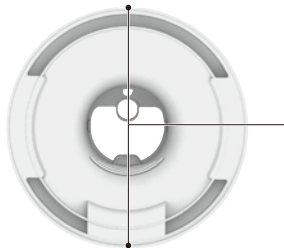


(拡大図)



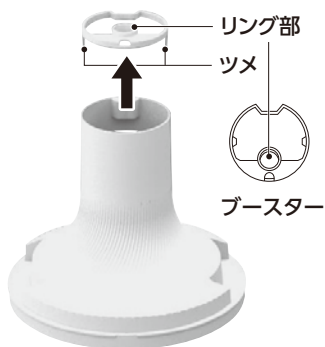
(真上から見た図)

インナーカバー



## 【ブースターを使用している場合】

### 6. ブースターをインナーカバーから取り外します



ブースターとインナーカバーはブースター2か所のツメで固定されています。

#### 取り外しかた

- ①ブースターの空間から指を入れ、リング部の下に掛けます。
- ②ブースターを持ち上げ、取り外します。



※ブースターの詳細については、「ブースターについて」(p.11)をご参照ください。

### 7. 各パーツを水道水で水洗いします

※洗剤や薬品を使用しないでください。

※タンク外側や裏面の端子は、水を掛けたり水に浸けるなどして濡らさないでください。



## 8. 洗った各パーツの汚れや水気を、乾いた柔らかい布で拭き取ります

※タンク外側や裏面の端子が濡れた場合は、水気をよく拭き取ってください。

※タンク裏面を拭き取る際は、端子部分を強く押さないでください。



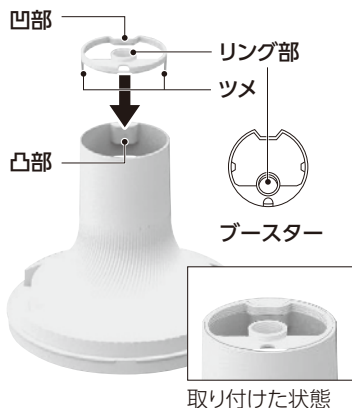
※ブースター使用の場合



タンク裏面

## 【ブースターを使用している場合】

### 9. ブースターをインナーカバーに取り付けます



ブースターとインナーカバーはブースター2か所のツメで固定されています。

#### 取り付けかた

- ①ブースターのツメ側をインナーカバーの内部に入れながら、ブースターの凹部をインナーカバーの凸部に合わせます。
- ②ブースターのツメが「カチッ」とするまで押し込んで、取り付けます。

※ブースターの詳細については、「ブースターについて」(p.11)をご参照ください。

10. トップカバーとインナーカバーを  
組み合わせます



11. カバーとタンクを本体に取り付け  
ます



## ■ タンクの乾燥機能について

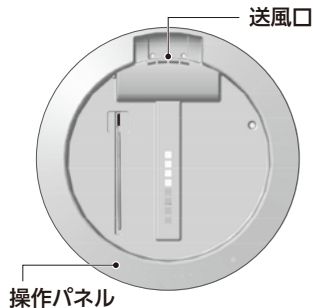
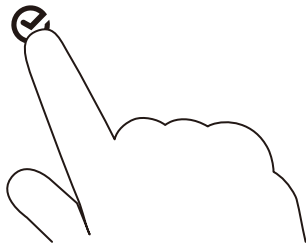
水洗いしたタンクの水気を乾燥する便利な機能です。  
送風口からタンク内に風を送ることで、タンク内を乾燥させます。

※乾燥機能で全ての水気を取ることはできません。効率的に乾燥するには、なるべく水気を乾いた布で拭き取り、補助的な役割としてご使用ください。

○タンクの乾燥は、下記の手順でおこなってください。


1. 電源がOFFの状態、タンクを本体にセットして、タイマーボタンを2秒以上長押しします

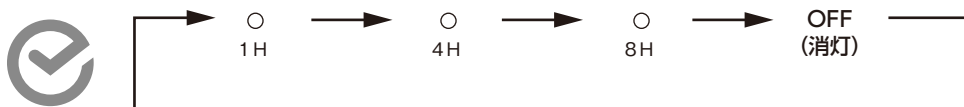
○ ○ ○  
1H 4H 8H



2. タイマーインジケータの1Hが点灯し、1時間タンクの乾燥を行います。

## ■ タンクの乾燥タイマーを設定する

タンクの乾燥中にタイマーボタン  に触れると、指定した時間でタンクの乾燥が自動OFFになります。タイマー（インジケータ）は下記の順に変化します。



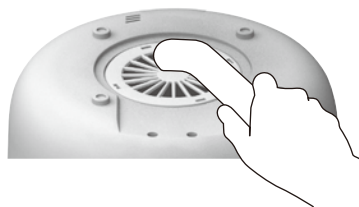
## 1ヶ月に1回程度

### ◇本体と吸気口フィルターは1ヶ月に1回程度お手入れしてください

本体表面の汚れは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、柔らかい布に少量つけて拭き取り、その後、からぶきしてください。

本体裏面の吸気口フィルターは、掃除機でほこりを取り除いてください。

汚れがひどい場合は、吸気口カバーを取り外し、フィルターを水洗いして、よく乾かしてから取り付けてください。



### 【フィルターの脱着方法】

①吸気口カバーを反時計方向に回します。

※吸気口カバーの隙間に右手の指を掛けて押し、左手のひとさし指で引くと回しやすいです。



②止まったところでロックが解除されますので、吸気口カバーを持ち上げて取り外します。

※お掃除の後は、必ずフィルターと吸気口カバーを取り付けてください。

※取り付ける際は、逆の手順で行ってください。



本体を水に濡らしたり、水洗いしない  
火災や感電、故障の原因になります。

## 汚れが目立つとき

◇超音波振動子は、加湿量が減ったり、汚れが目立つときにお手入れしてください

超音波振動子はタンクの底面にあります。表面の汚れは、付属のお掃除ブラシで軽く落とし、柔らかい布で拭き取ってください。

※付属以外のブラシや研磨剤を使用しないでください。超音波振動子表面にキズがつくと、加湿量が低下したり、故障の原因になります。

(真上から見た図)

お掃除ブラシ(付属品)



超音波振動子

※お掃除ブラシは「■ お掃除ブラシを収納する」(p.10)を参考に、正しく収納してください。ブラシ部の出っ張りにより、本体にタンクが正しく設置されず、正常動作しないことがあります。



**警告**

電源を入れた状態で超音波振動子付近に手を近づけない  
ケガをするおそれがあります。

## 汚れが目立つとき

### ◇エアダクトは、汚れが目立つときにお手入れしてください

エアダクトは不意に外れることを防ぐため下部が固定されています。取り外す際は多少力が必要な場合がありますので、ご注意ください。



- ①エアダクトの突起部を軸にして、下から上に開きます。  
※エアダクトの下部は、左右に押し広げながら取り外してください。
- ②エアダクトをタンクの溝部から持ち上げて分離します。  
※組み立てる際は、逆の手順で行ってください。
- ③エアダクトを水洗いします。
- ④水気を拭き取ります。



## 長期の保管をするとき

お手入れしたあと、よく乾燥させてから保管してください。水分や汚れが残ったままで長期間の保管をすると、カビや雑菌の発生により悪臭の原因となります。

購入時の箱やビニール袋などをかぶせ、高温多湿の場所を避けて保管してください。

# おもな製品仕様

製品番号(型番)	9YYA29		
加湿方式	超音波振動加湿方式		
使用温度範囲	5~35℃		
電源	入力:AC 100V 50/60Hz、出力:DC24V (専用AC電源アダプター使用)		
消費電力	Hi:45W	Low:34W	Fog:21W
加湿量			
ブースター有	Hi:約350~320ml/h	Low:約200ml/h	Fog:約28ml/h
ブースター無	Hi:約300ml/h	Low:約180ml/h	Fog:約28ml/h
連続加湿時間			
ブースター有	Hi:約5.5時間	Low:約9時間	Fog:約64時間*
ブースター無	Hi:約6時間	Low:約10時間	Fog:約64時間*
適用床面積	木造和室:10㎡(6畳)、プレハブ洋室:16㎡(10畳)		
照明	LED		
タンク容量	約2.2L(残水0.4L)		
製品寸法	高さ333×幅256×奥行256mm		
製品質量	約3kg(AC電源アダプター含まず)		
コード長	ACアダプター:1.5m、AC電源コード:1.0m		

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

※適用床面積の目安は、日本電機工業会規格(JEM1426)に基づいています。

※適応床面積は、最大加湿量時になります。

※加湿能力は、室温20℃環境、水温20℃の場合です。

※加湿量・加湿時間はタンク内水量、使用環境により左右されますので目安としてください。

\*雑菌の繁殖を抑制するため、タンクの水は毎日新しい水道水にすべて入れ替えてください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなら責任を負いかねますのでご了承ください。

# 故障かな? と思ったら

## ■ 異常警告表示について

タンクが正しく設置されていないと、接触不良などにより、電源インジケーターが赤に変わり、全てのインジケーターが点滅して、警告音が「ピッピッピッ ピッピッピッ ピッピッピッ」と鳴ることがあります。タンクを正しく置き直したあと、コンセントから差し込みプラグを抜き、10分程度後に再び電源を入れなおして再起動させてください。再び同様の症状が起きる場合は、機器の故障が考えられますので、すぐに使用をやめて、当社お客様相談室にご連絡ください。

その他については、以下の表から該当の症状をご確認ください。

症状	原因	処置
異常警告表示の警告音が鳴った	お掃除ブラシが正しく収納されず、ブラシ部が出っ張っているため、タンクが正しく設置できていない	「■お掃除ブラシを収納する」(p.10)を参照して、お掃除ブラシを正しい位置に収納してください
	周囲の温度が高い(35℃以上)	床暖房や暖房器具などから離してください
電源が入らない	AC電源アダプターがコンセントとDCジャックに確実に差し込まれていない	正しく接続してください
	※ご使用中に給水を行う際は、AC電源アダプターを抜く必要はありません お手入れや長期間使用しない場合にAC電源アダプターを抜いてください	
ミスト(霧)が出ない	お掃除ブラシが正しく収納されず、ブラシ部が出っ張っているため、タンクが正しく設置できていない	「■お掃除ブラシを収納する」(p.10)を参照して、お掃除ブラシを正しい位置に収納してください
	タンクに水がない	タンクに水を入れてください
	タンクに水を入れすぎている	タンクの水を満水ライン以下にしてください
	タンクが本体に正しくセットされていない	タンクを正しくセットしてください
	AC電源アダプターがコンセントとDCジャックに確実に差し込まれていない	正しく接続してください
	Autoモードの運転中は、周囲の湿度に応じて霧化を停止することがあります	異常ではありません

症状	原因	処置
ミスト(霧)の量が少ない	運転開始直後	30分程度放置してください 開始直後より量が増えているれば正常です
	吹出口に水滴がたまっている	吹き出し口内側の水滴は自然に内部へ流れ込みますので、そのままで大丈夫です。吹き出し口外側についた水滴は必要に応じ拭き取ってください
	カーペットの上に置くなど、吸気口をふさいでいる	吸気口をふさいでいるものを取り除くか、設置場所を変えてください
	加湿量は水位によって多少変化します	異常ではありません
	加湿モードが「弱」になっている	「■加湿モードを選ぶ」(p.18)を参照してください
	湿度設定が「弱」になっている	「湿度設定について」(p.22)を参照してください
ミスト(霧)の量が安定しない	吸気口フィルターが汚れている	「お手入れについて」(p.31)に従って、吸気口フィルターの汚れを取り除いてください
ミスト(霧)の量が変わった	Autoモードで運転している	Autoモードは、室内の湿度を検知して自動でミスト(霧)量を調整します。「■加湿モードを選ぶ」(p.18)を参照してください
周囲の湿度が高いのにミスト(霧)が出続ける	Autoモードで運転している 電源をONにした後は強運転で開始します	3分程度放置してください。その後は周囲の湿度に応じて加湿します
突然止まった	タイマーにより自動OFFになった	「■タイマーを設定する」(p.18)を参照してください
ランプの照度が暗い	お部屋が暗く、明暗センサーが反応している	お部屋を明るくしてください。「■明暗センサーについて」(p.19)を参照してください
	明暗センサー一部が陰になっていたり、物で覆われたりしている	明るい位置に本体を移動するか、覆っているものがあれば取り除いてください。操作パネル(p.17)の明暗センサーの位置を参照してください
タイマーインジケーターが消えている	電源をOFFにした	電源がOFFになるとタイマーはリセットされますので、再度設定してください。「■タイマーを設定する」(p.18)を参照してください

症状	原因	処置
周囲が結露する	設置場所が不適	「1.設置場所を確認する」(p.12)を参照してください
	部屋の温度と湿度が範囲外	「■加湿器使用によるお部屋の結露」(p.23)を参照してください
	加湿量設定が強すぎる	「■加湿器使用によるお部屋の結露」(p.23)を参照してください
湿度が上がらない	部屋の広さが適用量数の目安を越えている	適用量数の目安の範囲内でご使用ください 「おもな製品仕様」(p.34)を参照してください
	部屋の窓や戸が開いている	窓や戸を閉めてご使用ください
	湿度設定が「弱」になっている	「湿度設定について」(p.22)を参照してください
タンクの水が濁る	カビや異物などが混入している	水が濁った場合は、すぐに使用を停止し、タンク内の水を入れ替えて、再び濁ることがないか確認してからご使用ください タンク内の水を入れ替えても症状が改善されない場合は、使用を中止して、当社総合サポートにてお問い合わせください
ミスト(霧)がにおう	本体内部やタンク内部が汚れている タンクの水が古くなっている	本体とタンクの水を捨て、タンク、インナーカバー、吹出口カバー、トップカバーをお手入れして、新しい水を入れてください
	精製水や蒸留水を使用している	精製水や蒸留水は細菌が繁殖しやすくなるため使用できません。必ず水道水を使用してください
電源インジケータが赤く点灯した	カバーがない、タンクがない状態で電源をONにした	カバーまたはタンクを取り付けるか、電源ボタンに触れて、電源をOFFにしてください 「安全機能について」(p.21)を参照してください
	タンクに水がない	タンクに水を入れてください

## 保証について ※送料は実費をいただきます。

---

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。

1. 保証書のご提示がない場合。
  2. 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
  3. お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
  4. お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障または損傷。
  5. 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
  6. お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
  7. ご使用中に生じる外観上の変化（製品の小さなキズや汚れなど）。
  8. 定期的なお手入れがされていない状況での故障、または損傷。
- ネット通販をご利用の場合は、領収書やレシートなど、購入日が確認できる記録を添付してください。
  - この保証書は国内のみ有効です。 This guarantee is valid only in Japan.
  - ご記入いただきました個人情報、商品の修理・調整に関するご連絡にのみ利用させていただきます。

## アフターサービスについて

---

この商品のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上でご利用ください。お買い上げ販売店でアフターサービスが受けられないときは、当社総合サポートにてお問い合わせください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

### ●修理部品の保有について

電子回路などの修理用性能部品は製造打ち切り後、5年間で基準に保有していますが、在庫が無くなり次第終了となります。また、故障の状態やその他の事情により、製品交換で修理の代用とすることがありますのでご了承ください。

### ●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この商品の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理（製品交換含む）が可能です。ただし、修理内容や送料などにより、修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。

Service and technical support for this product are available only within Japan.

## お問い合わせ先

リズム総合サポート

<https://rhythm.jp/support/>

商品照会の際は、製品裏面または底面に表示してある製品番号(型番)をご確認ください。

例. 9YY○○○、9YYA○○

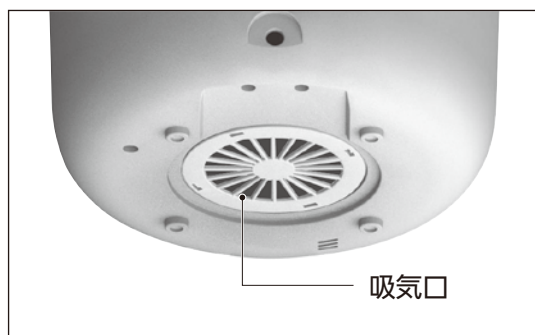
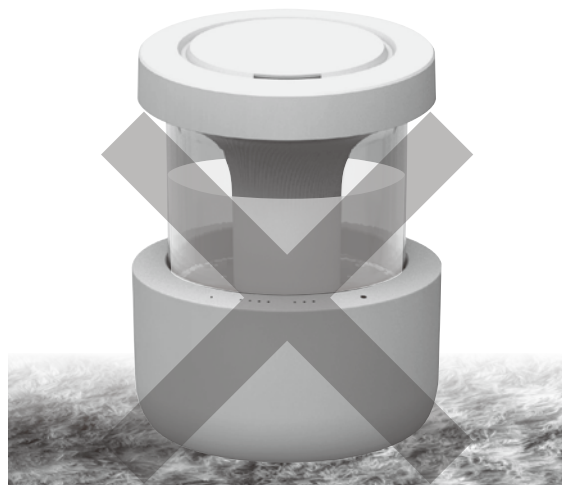
お客様相談室:0120-557-005 受付時間 9:00～17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

発売元 **リズム株式会社** 〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12  
<https://www.rhythm.co.jp>

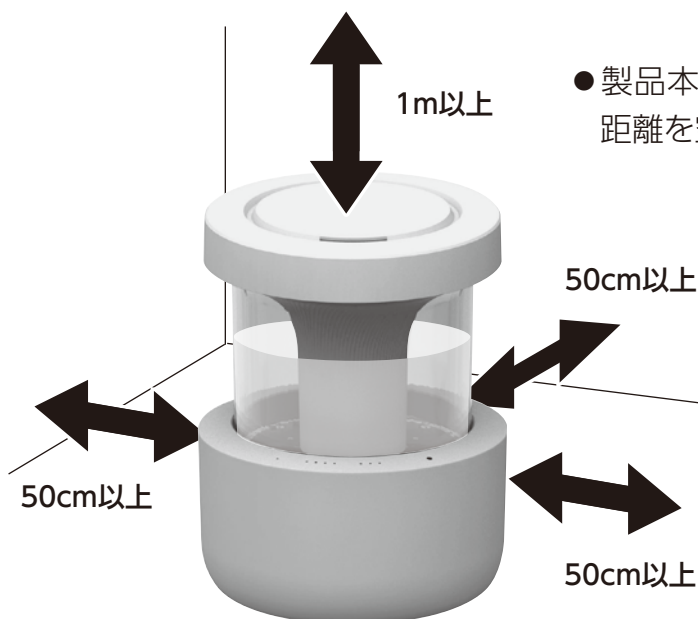
# 設置についてのご注意

詳細は取扱説明書のP12,13をご参照ください

本製品は構造上、底面に空気の吸気口があります。  
ご使用の際は、毛足の長い敷物(じゅうたん・ラグ・カーペット等)  
の上に置かないでください。



- 毛足の長い敷物の上に置くと吸気口がふさがれ、十分に空気を吸い込めなくなります。
- 十分に空気を吸い込めない状態が続くと、ミスト(霧)の量が低下して本体の温度が上昇し、警告音が鳴って運転が停止する場合があります。
- 平滑な床面に設置して、吸気口が塞がれていない事を確認してください。



- 製品本来の性能を発揮するため、設置の際は周囲との距離を空け、安定した所に設置してください。

※お使いになる前に必ず取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。